

- 問1 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何とといいますか。
- 問2 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何とといいますか。
- 問3 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何とといいますか。
- 問4 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何とといいますか。
- 問5 大陸だなの近くでは、なぜよい漁場ができるのですか。
- 問6 夏の涼しい気候などを利用して、野菜の育つ時期を普通よりも「遅らせて」栽培する方法を何とといいますか。
- 問7 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何とといいますか。
- 問8 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何とといいますか。
- 問9 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何とといいますか。
- 問10 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何とといいますか。
- 問11 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。
- 問12 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何とといいますか。
- 問13 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、ふつうよりも早い時期に野菜をつくり出荷する栽培方法を何とといいますか。
- 問14 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。
- 問15 魚市場で行われる「せり」には、どのような役割がありますか。
- 問16 栽培漁業において、わざわざ稚魚を育ててから自然の中へ「放流」するのはなぜですか。
- 問17 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。
- 問18 長野県や群馬県などの涼しい地域で、夏の涼しい気候をいかしてキャベツやレタスを育てる主な目的は何ですか。
- 問19 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。
- 問20 群馬県や長野県の高原地域で、夏から秋にかけてキャベツやレタスをたくさん出荷しているのは、なぜですか。